



～相談制度の巻～

経済アドバイザーをご活用ください!

(財)自治体国際化協会交流支援部経済交流課

近年、自治体の海外活動において、経済に関連する活動の重要性が高まっています。クリアでは、自治体を取り組む海外における経済活動を効果的に支援するため、経済アドバイザー制度を実施しています。海外でのビジネス経験・専門知識が豊富なアドバイザーが、海外経済活動を行う際に必要な基本情報から、個別の事例に関するアドバイスまで、プロの目線で個々の自治体の状況に応じた支援をしています。

経済アドバイザー制度の概要

相談対象者	地方自治体（企業からの直接の相談は承っておりません）
お申し込み方法	電話、FAX、E-mailいずれも可能です。お気軽にお申し込みください。
お問い合わせ先	(財)自治体国際化協会 交流支援部経済交流課 担当：久世 TEL：03-5213-1726 FAX：03-5213-1742 Email：keishin@clair.or.jp

以下、2013年4月に就任した経済アドバイザーの小笠原正広の紹介をさせていただきます。

経済アドバイザー おがさわら まさひろ
小笠原 正広

1970年佐賀大学卒業後、野村貿易(株)入社。マレーシア（クアラルンプール支店）、インドネシア（ジャカルタ事務所）勤務、その後（2000年～）インドネシア地域総支配人兼現地法人社長を経て、東京本社業務統括部長、繊維・資材部門長、食品部門長、常勤監査役を勤め、2011年同社退職

2013年4月からクリア経済アドバイザー



商社活動経験

私は、1970年に中堅総合商社に入社し、41年にわたり商社マンとして、東南アジアを中心に海外取引に携わってきました。数多くの国への出張に加え、マレーシア1回、インドネシア2回、通算約10年の海外駐在を経験しました。

エピソード1

(大阪繊維本部時代)

～メリヤスから、婦人ニットブラウスへ
華麗な変身～

1974年に、私は配属先の大阪本社繊維本部服飾課で、アパレル縫製担当としてファッション素材の開発を担当しました。新しい素材として取り上げたのは、和歌山市の地場産業であった丸編みのメリヤス（肌着）です。

今では当たり前になった伸び縮みするニット生地への染色、プリント加工に悪戦苦闘し、やっと仕上がったと思うも、つかの間、縫製工程を経てでき上がったこのブラウスは、一度洗濯すると縮んでしまい二度と着ることができませんでした。和歌山のメリヤス工場へ毎週土曜日の午後、試作品の検証のために、通い続けて約1年たったころ、やっと高級綿糸シルク加工ニット天竺生地てんじくにプリント柄の女性ブラウスの誕生を見ることができたのです。

エピソード2

(クアラルンプール支店勤務時代)

～身体を張って鮮度確認～

1976年10月に、私はクアラルンプール支店の水産物担当者としてポートクラン港のイカ加工工場の冷凍倉庫で、日本向け輸出商品の検品に立ち会っていました。日本の水産事業部からイカの冷



1970年代のクアラランプール市街

凍品を解凍し、鮮度の確認をするよう指示があったのです。私はパームやし油が専門で、水産物の取り扱いは全くの素人でしたが、限られた人数の日本人駐在員としては何でも担当しなければなりません。水産物の鮮度は色合いや、ぬめり、触った感触から判断するのですが、全く見当が付きません。結局、見た目からは判断ができず、その場で解凍されたイカの切り身を試食し、数時間待つて腹具合で判断しました。まさに身体を張っての体当たり戦法です。この業務の取り組み姿勢が認められ、シッパー（輸出業者）からはイカだけでなく、えび、キス、クラゲなど水産物の日本向け販売を一手に任されるようになったことはまさにけがの功名でした。

マレーシア駐在時代の主な職務実績

- ・専門のパームオイル関係ではパームオイル精製工場と提携、日本からの技術者派遣などにより付加価値を高めた高級アルコール製造に尽力し、同国からの付加価値輸出推進に貢献
- ・日本からのメッキ技術を導入、地場中小企業育成に尽力

エピソード3

(ジャカルタ駐在員事務所勤務時代)

～冷凍パン焼きたての香りをインドネシアへ～

2001年のインドネシア駐在員当時に、同地で開業したばかりのコンビニエンスストアの社長と付加価値のある商品の品ぞろえと弁当、焼きたてパ

ンの導入を計画しました。将来、日本のコンビニが進出した際に備えるため、日本の弁当工場、冷凍パン生地製造卸工場を視察し、インドネシアのコンビニ近代化の第一段階として、“焼きたてパン”導入を提案したのです。実現に向け、大阪の大手冷凍パン生地メーカーと交渉しましたが、冷凍パン生地の製造はインドネシアでは時期尚早という話しになり、冷凍生地を輸入し、それを店頭で発酵・焼成し、温かい焼きたてを販売するという方針に変更しました。冷凍生地は、大阪のメーカーの紹介で韓国大手メーカーから輸入すること



インドネシアの焼きたてパン

となりました。こうしてインドネシアで、初めて店舗での焼きたてパン販売が実現したのです。また日本のコンビニにならい、インドネシア式弁当、日本のスナック菓子などの品

ぞろえを広げ、インドネシアにおけるコンビニの近代化に貢献することができました。このコンビニは、今では約1万店舗を誇るインドネシア最大のコンビニチェーンに成長しています。

インドネシア駐在時代の主な職務実績

- ・インドネシア石炭鉱山第一号の開発を手がけ同国石炭産業育成に貢献
- ・同国のゴムの老木、松の集成材家具製造事業に貢献
- ・建設機械合弁事業設立推進、鉄鋼製品輸出拡大

私のクエア経済アドバイザー活動

2013年4月に、クエア経済アドバイザーに就任しました。海外の特定地域へ物産紹介を希望している自治体に対して、PR方法、物産の持ち込み方法、イベントの実施方法、現地消費者動向や消費環境などのアドバイスをさせていただいております。事業計画の立案段階からでも構いません。自治体の皆さんが海外経済活動を検討される際は、ぜひご相談ください。